

たわわに実った長寿みかん

市天然記念物「長寿みかん」収穫

12月3日(水)香我美町山北で樹齢約150年の「長寿みかん」の収穫が行われ、約500kgのみかんを収穫し、市内の保育所や福祉施設などに配られました。

収穫を行った香我美町長寿みかん保存会のメンバーは「今年は、摘果がようできちゅう。玉のも味もえい」と絶賛。摘果作業はJ A土佐香美農協の果樹青年部が行ったもので、「若い者が中心になって丹念に手入れをしてくれたおかげ」と会長の岡村彰さんは、若い担い手たちに感謝していました。



ぺったんぺったん餅つきだ

保育所・幼稚園 餅つき

12月11日(木)夜須保育所で餅つきが行われました。この餅つきは毎年、香南ライオンズクラブの厚意により、市内の各保育所・幼稚園などで行われているものです。

この日体験した3歳児は、大きな臼うすの中でお餅ができる様子に興味津々。杵きねを持たせてもらった子どもたちは、真剣な表情で餅つきをしていました。つき上がると小さな手でいねいに丸め、できたてのお餅をみんなでおぼっていました。



絵金にふんしPR

NHK衛星ハイビジョン「絵金伝説」収録

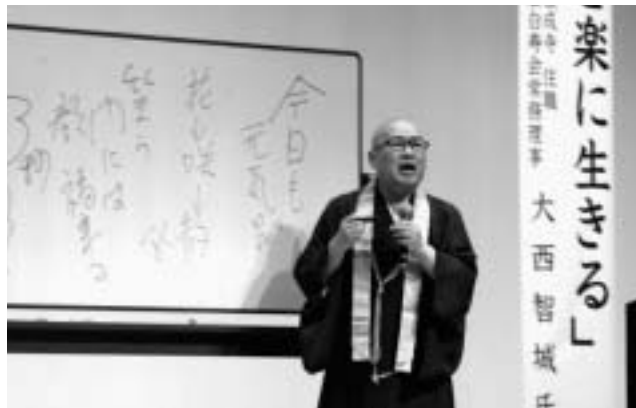


11月30日(日)幕末の絵師「金蔵」の人生を描いたNHK番組「絵金伝説」が弁天座で収録されました。90分番組でその内15分間は、地元、土佐絵金歌舞伎伝承会の芝居で絵金の人生を再現しています。

伝承会のメンバーらは、観客のいない客席やテレビ撮影の段取りに戸惑いながらも、一つ一つの動作や台詞ふに集中。同じ場面でカメラの位置が変わるごとに何度も演じることに苦勞していました。なお、この番組は、12月17日にNHK衛星ハイビジョンで放映されました。

楽しく生きるために

香南市人権啓発フェスティバル



12月4日～10日の人権週間と3日～9日の障害者週間にちなみ12月7日(日)、のいちふれあいセンターで、人権啓発フェスティバルが開催されました。

講演では「もっと楽しく生きる」と題し、願成寺住職大西智城氏が「考え方ひとつで楽しく生きられる」と住職としての経験などをユーモアたっぷりに話され、来場者からは「感銘を受けた」などの声が聞かれました。その他、市内障害者団体などの出店や人権作品の発表など、多彩な催しに来場者は楽しく人権を学びました。

体育館が音の玉手箱に

第14音楽隊ふれあいコンサート

11月16日(日)陸上自衛隊第14旅団音楽隊による「ふれあいコンサート」が香我美中学校で開かれ、来場者約120人が迫力ある演奏を堪能しました。

コンサートでは、演歌メドレーなどのほか、来場者が指揮を体験する「1分間指揮者コーナー」もあり、小学生の指揮で音楽隊が見事に演奏する場面も。コンサートの最後には、事前に指導を受けた同校吹奏楽部と息の合った演奏が披露され、会場は大きな拍手に包まれました。



音楽隊員に指導を受ける中学生

プロってすごいねえ～

カシオワールドオープン見学会

11月28日(金)芸西村のゴルフ場「K O C H I 黒潮カントリークラブ」で開催された「カシオワールドオープン」で、近隣小学生を対象としたスナッグゴルフの体験とゴルフの見学会などが行われました。

この日参加したのは、夜須小学校6年生と、香我美小学校4年生。スナッグゴルフでは「すごく楽しかった」とみんな大騒ぎ。また、横田真一選手の練習見学では、勢いよく飛んでいく球に「うわぁ～」と歓声が上がり打ち終えた横田選手に拍手喝さいでした。



姫様もふるさとは「赤岡」

「天守物語」弁天座上演



11月15日(土)高知の若手劇団員による「天守物語」が昨年に引き続き、赤岡町弁天座で上演されました。この作品は泉鏡花の戯曲で、天守閣に住む美しい妖怪「富姫」と鷹匠「図書之助」の恋物語。

主人公富姫を演じる畠中昌子さんは子ども時代を赤岡町で過ごしています。「小学校のクスノキが懐かしかったです。弁天座で上演される歌舞伎のように、見るたびに違う作品にしていきたい」と畠中さんは話されました。

秋のうまいもの満載！

第7回ヤ・シィの秋まつり



11月23日(日)ヤ・シィパークを会場に「ヤ・シィの秋まつり」が開催されました。会場にはフリーマーケットや市内のうまいもの販売、楽しいイベントが満載。

毎年恒例の「宝探し」では、総額10万円のお宝を目指して、大人も子どもも一生懸命。遠くの砂浜まで歩き、当たりの石を探していました。3トトラックにいっぱいの名物ダイコン販売や盛りだくさんのステージショーに、当日は約8,000人が訪れ、それぞれにイベントを満喫していました。